

上田市史目次（上）

上田市の地理的概観及市内大小字名表	一
第一紀 上田築城以前の上田地方	二
第一篇 上代の上田地方	三
第一章 上代の遺物遺蹟	三
第一節 上代の遺物	三
第二節 上代の遺蹟	四
第二章 科野國造 信濃國府 軍團國學	六
第一節 科野國造	六
第二節 信濃國府	七
第三節 軍團、國學	八
第二篇 奈良時代の上田地方	八
第一章 諏訪國	八
第二章 信濃國分寺	八
第一節 國分僧寺	八
第二節 國分尼寺	一〇
第三章 小縣郡	一〇

第四章 灌漑の遺蹟	一一〇
-----------	-----

第三篇 平安時代の上田地方	一一八
---------------	-----

第一章 高麗の歸化人	一二八
------------	-----

第一節 小縣郡居住の高麗人賜姓を請願す	一二八
---------------------	-----

第二節 高麗人小縣郡居住の理由	一二九
-----------------	-----

第二章 式の官道	一三三
----------	-----

第一節 信濃の官道	一三三
-----------	-----

第二節 浦野驛	一三三
---------	-----

第三節 亘理驛	一三四
---------	-----

第三章 小縣郡内の式内神社	一三六
---------------	-----

第一節 信濃の式内神社	一三六
-------------	-----

第二節 生島足島神社二座 名神大	一三七
---------------------------------	-----

第三節 山家神社	一三五
----------	-----

第四節 鹽野神社	一三七
----------	-----

第五節 子檀嶺神社	一三九
-----------	-----

第四章 倭名抄所載小縣郡八郷	一四〇
----------------	-----

第一節 倭名抄所載信濃の郷數及小縣八郷名	一四〇
----------------------	-----

第二節 須波郷	一四一
---------	-----

第三節 其他の諸郷	一四三
-----------	-----

第五章 異 變

第一節 天 災	一四六
---------	-----

第二節 千曲河畔の戰	一四七
------------	-----

第六章 院政時代 平安時代末季 の上田地方	一四九
--------------------------------------	-----

第一節 保元の頃上田地方の武士	一五〇
-----------------	-----

第二節 源義仲と上田地方	一五〇
--------------	-----

第四篇 鎌倉幕府時代の上田地方	一五七
-----------------	-----

第一章 源賴朝の信濃善光寺參詣	一五七
-----------------	-----

第二章 吾妻鏡文治二年に見えたる小縣の庄園	一六六
-----------------------	-----

第一節 常 田 莊	一六六
-----------	-----

第二節 海 野 莊	一七五
-----------	-----

第三節 小 泉 莊	一七五
-----------	-----

第四節 鹽 田 莊	一七六
-----------	-----

第五節 浦 野 莊	一七六
-----------	-----

第六節 依 田 莊	一八〇
-----------	-----

第三章 鎌倉幕府時代に於ける上田地方の豪族	一八〇
-----------------------	-----

第一節 海野氏及禰津氏	一八〇
-------------	-----

第二節 泉小二郎親衡 吾妻鏡親平	一八五
---------------------------------	-----

第三節 承久の亂當時上田地方の豪族	一八九
-------------------	-----

第四節 鹽田の北條氏	一九〇
第五篇 元弘建武より吉野朝廷時代の上田地方	一九五
第一章 北隣村上氏	一九五
第一節 村上義光父子の忠烈	一九五
第二節 義光以後の村上氏	一九六
第二章 中先代の亂	一九九
第一節 北條時行の舉兵、信濃武士多く之に應ず	一九七
第二節 時行敗れ鎌倉を落つ	二〇〇
第三章 吉野朝廷時代の上田地方	二〇一
第一節 時行の歸順	二〇一
第二節 滋野一族	二〇一
第三節 上田に於ける宮方の遺物	二〇五
第六篇 室町幕府時代の上田地方	二〇七
第一章 大塔合戦	二〇七
第一節 南北朝合一	二〇七
第二節 小笠原長秀信濃守護となり信州に入る	二〇八
第三節 反小笠原の聯合軍起つ	二一〇
第四節 大塔要害陥る	二二三
第二章 結城合戦	二二四

第三章 戰國時代の上田地方……………二五

第一節 村上氏の勢東信に伸ぶ……………三五

第二節 武田氏の小縣侵入……………三九

第三節 村上義清……………三一

第四章 武田氏の北信侵略と上田地方……………三三

第一節 戸石城の攻圍……………三三

第二節 上田原の戰……………三四

第三節 武田信玄と社寺……………三六

第七篇 眞田氏……………三〇

第一章 眞田氏の出自と眞田幸隆……………三〇

第一節 眞田氏の出自に就ての考察……………三〇

第二節 滋野氏……………三八

第三節 眞田幸隆……………三四

第二章 眞田源太左衛門尉信綱……………四六

第三章 眞田安房守昌幸……………四九

第一節 眞田昌幸の眞田家相續……………四九

第二節 昌幸の北上州經略……………五〇

第三節 岩櫃籠城の準備……………五四

第四節 昌幸織田氏に屬す……………五八

第五節	信長死後昌幸の動行	二五八
第六節	昌幸徳川氏に屬す	二五九
第二紀	自上田築城至廢藩置縣	二七五
第一篇	上田築城以後藩政初期に至る	二七七
第一章	上田築城以前眞田氏の居城	二七七
第一節	松ノ尾城	二七七
第二節	戸石城	二七八
第二章	上田築城、城下町の形成	二七九
第一節	上田築城	二七九
第二節	城下町の形成	二八一
第三章	上田合戦	二八三
第一節	眞田昌幸徳川家康の要求を峻拒す	二八三
第二節	徳川軍の來攻	二八五
第三節	徳川軍敗績	二八六
第四節	丸子表(長瀬河原)の戦	二八九
第四章	上田合戦後の眞田氏	二九二
第一節	昌幸其子信繁幸村を上杉に質とす	二九三
第二節	昌幸豊臣氏に屬す	二九三
第三節	昌幸其勢を佐久方面に伸ばす	二九四

第四節 昌幸の領内仕置……………二九六

第五章 小田原征伐當時の眞田氏……………二九九

第一節 眞田昌幸沼田を北條氏に渡す……………二九九

第二節 北條の違約秀吉の激怒……………三〇一

第三節 昌幸小田原征伐に従ふ……………三〇六

第六章 關ヶ原役當時の上田……………三〇九

第一節 豊臣秀吉の薨去……………三〇九

第二節 昌幸父子家康の會津征伐に従ふ……………三一〇

第三節 家康討滅の西軍起る……………三一

第四節 昌幸西軍に應じ上田に籠城す……………三二六

第五節 秀忠の軍上田城に迫る……………三三四

第六節 昌幸幸村父子の助命……………三三一

第七章 高野山蟄居中の眞田父子……………三三三

第一節 眞田氏と高野山蓮華定院……………三三三

第二節 昌幸雄志を擁いて高野に卒す……………三三四

第三節 昌幸の葬儀……………三四〇

第四節 高野九度山蟄居中の幸村……………三四二

第八章 大阪城に於ける幸村……………三四六

第一節 幸村の大坂入城……………三四六

第二節 眞田丸の據守	三五三
------------	-----

第三節 幸村家康の招を斥く	三五四
---------------	-----

第四節 冬陣講和後の幸村	三五七
--------------	-----

第五節 夏の陣	三六〇
---------	-----

第六節 幸村の戦死	三六一
-----------	-----

第七節 幸村の墓所及其子女	三六四
---------------	-----

第九章 寒松院小縣眞田家分知行	三六八
-----------------	-----

第一節 寒松院	三六九
---------	-----

第二節 小縣眞田家知行	三七二
-------------	-----

第二篇 藩政時代	三七九
----------	-----

第一章 上田領主及知行高	三七九
--------------	-----

第一節 眞田信之	三七九
----------	-----

第二節 仙石氏	三八三
---------	-----

第三節 松平氏	四一〇
---------	-----

第四節 所替	四四〇
--------	-----

第五節 参観交代の模様	四五二
-------------	-----

第二章 上田藩の分知	四六四
------------	-----

第一節 川中島上田藩領	四六四
-------------	-----

第二節 仙石矢澤分知	四六五
------------	-----

第三節	松平鹽崎分知	四六九
第三章	上田城の修築	四七三
第一節	仙石の修築	四七三
第二節	松平氏の修築	四八二
第四章	兵事	四九〇
第一節	戦争参加	四九〇
第二節	出兵	五二七
第三節	軍事に關する制令	五五一
第四節	軍隊訓練	五六七
第五節	戎裝改制、英、佛兵制の採用及農兵大小砲銃の製造	五七
第六節	上田藩の武藝諸道	五七八
第五章	米艦渡來當時の上田滿	五九〇
第一節	當時の上田藩主	五九〇
第二節	上田領分内非常時氣分	五九二
第三節	軍事方面	五九七
第六章	御預人	六〇〇
第一節	沼田の眞田家預り人	六〇〇
第二節	足利三代木像梟首事件囚人預り人	六〇三
第三節	仙臺藩元家來預り人	六一

第七章 藩政時代の役人……………六三

第一節 藩役人……………六三

第二節 在町役人……………六八

第八章 民 政……………六九

第一節 施政條目……………六五

第二節 五人組合……………六七

第三節 宗門改及博奕織砲改……………六八

第四節 儉約令……………六五

第九章 藩の財政難應急救済策……………七八

第一節 家中減知及借米……………七八

第二節 御用金と御頼み金……………七一

第三節 献 金……………七三

第十章 土地經濟……………七三

第一節 藩の收入及支出……………七三

第二節 免 相……………七八

第三節 切 起……………七四

第四節 檢地檢見……………七五

第五節 年貢納入……………七五

第六節 貫高、石高及貫代……………七五

第七節	反別の代用詞	七七
第八節	正租即年貢以外の藩收入	七六
第九節	年貢以外の高掛負擔	七二
第十節	町方出作地及小作	七五
第十一節	農一家の收入及公私所得比例	七八
第十二節	農耕	七八〇
第十三節	散田	七八七
第十四節	永續講	七九三
第十五節	耕作助成及農作物保護	七九四
第十六節	灌漑	七九八
第十七節	田畑の肥料	八〇〇
第十八節	買文地禁作物	八二
第十九節	年の豊凶と世並の善惡	八七
第二十節	年の豊凶と酒造	八九
第二十一節	殖産	八三
第二十二節	貯穀	八四
第十一章	交通運輸	八四〇
第一節	上田關係の街道	八四〇
第二節	上田宿	八四一

第三節	上田宿常備の人馬	八四六
第四節	人馬賃錢	八四七
第五節	刳錢	八五一
第六節	上田宿助郷、小牧村助郷容赦願	八五九
第七節	馬代拜借	八七一
第八節	馬子	八七六
第九節	公用信書の遞送	八七九
第十節	定飛脚渡世出願	八八三
第十一節	加賀川橋と諏訪部橋	八八四
第十二節	旅舍	八九一
第十三節	諸大名の通行	九〇一
第十四節	城米運送	九〇八
第十五節	脇道通過駄賃荷物問題	九一〇
第十六節	牛着荷物口錢訴訟	九一三
第十七節	千曲川通船一件	九一七
第十八節	富山賣藥運送取極	九二四
第十九節	中馬口錢	九二五
第二十節	鑄物口錢一件	九二九
第廿一節	特別なる通行宿泊	九四三

第廿二節	正徳二年道中往還條目	九五五
第十二章	市場としての上田	九五九
第二節	兩町市場	九五九
第二節	市場權擁護	九六〇
第十三章	諸商物	一、〇二一
第二節	賣値段藩干渉の品	一、〇二一
第二節	商品問屋	一、〇三八
第三節	商事雜載	一、〇四七
第十四章	重要名産	一、〇五六
第二節	上田綿	一、〇五六
第二節	上田紬及眞綿	一、〇六二
第三節	蠶種	一、〇七〇
第四節	生絲	一、〇九八

昭和十五年一月二日印刷
昭和十五年一月五日發行

上田市史
上下二卷 金貳拾圓

禁復製轉載

發行所

著者 藤澤直枝
編輯者 長野縣上市

代表者 伊藤傳兵衛

印刷者 長野市妻科一七三番地
大日方利雄

印刷所 長野市南縣町六五七番地
信濃毎日新聞社

長野市南縣町六五七番地

信濃毎日新聞株式會社